

# 南の風

## No.46

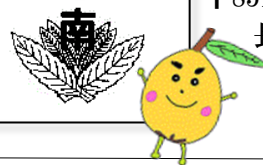
令和3年3月2日

〒851-0245 TEL095-836-0085

長崎市千々町513番地

長崎市立南小中学校長

岡田 政宏



### 学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成

## 中学校教職員から

### お礼とお別れのメッセージ②

中学校が四月から休校。45号に引き続き、少し早い教職員のメッセージです。

いっしょ



現在の職員室の中では一番長い勤務期間になりました。その中で沢山の色々な経験をさせてもらいました。勉強になりました。「小さな学校でも、やればできる！」という気持ちで子どもたちと過ごした5年間、今までの教員生活の中でも充実した期間になりました。様々な思い出の中でも、手前味噌ですが、なんとってロボットコンテストに関わる子どもたちの頑張りに、いつも感動しました。中学3年生のみの取組なので実質的に約半年ほどの活動。長崎市大会から始まり、県、九州、全国大会へ出場します。と、文章で書くのは簡単ですが、子ども

私たち全員が休日返上で練習に打ち込み、厳しい状況をみんなで協力しながら打ち破っていきま



総文祭 WEB STAGE のロボット演

す。その姿に大いに感動するとともに、強く逞しく成長する子どもたちの姿に教師として大変な喜びを感じました。みんな可能性を秘めています。より大きく成長することを信じています。皆様、お世話になりました。お元気で！



養護

南小中学校に赴任して初めての一年、そして最後の一年が過ぎようとしています。あつという間の一年間でした。中学生2名と小学生10名。とても小さな学校でしたが、多くのことを学ばせていただきました。今年は新型「コロナ」の影響で、いろいろな制約がありました。そのような状況であっても、オンライン授業やたくさんの学校行事が実施され、生徒も私たち教師も充実した日々を送ることができました。これも、保護者の皆様や地域の方々の支えがあつたことと思っています。おかげさまで私自身大変恵まれた一年を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。来年度は、中学校は休校するので、とても寂しいですが、どうか南小中学校がずっと存続しますように、願っております。自然に囲まれ、美しい瞳と人懐っこい笑顔の児童・生徒のみなさんの今後の活躍をお祈りいたします。皆様、お世話になりました。

南小中に来て約1年半が過ぎました。初めて行く小中併設の学校ということで、どのような児童生徒がいるのだろう？と楽しみにしていたことを思い出します。本校に来て、まず印象的だったことが児童生徒が年齢に関係なく、家族のようにみんな仲良く遊んでいたことです。子どもたちと一緒に鬼ごっこやサッカーをしたのは、本校が初めてです。給食も一緒に食べたのもいい思い出です。また、素直で真面目にがんばろうとする児童生徒の姿に、毎回感心しています。これからその良さを持ち続けていてほしいなと思います。また、直売所でびわやみかんを買ったり、地域の方々から「先生、食べんねー」とたくさんいただいたりと、とても嬉しかったです。この他にも私は南小中で、たくさんの貴重な経験をさせていただき、本当に恵まれている1年半でした。皆様、お世話になりました。

3月1日の全校朝会で、「南校区よかここカレンダー」を使い、子どもたちに今月の二十四節気、「啓蟄」と「春分」の話をしました。春分の日(今年は3月20日)前後それぞれ三日を合わせた七日を「春の彼岸」といい、ご先祖供養の意味合いで、仏壇にお供え物を供えます。ここで、子どもたちにクエスチョン「春の彼岸でお供えするのは、①と②のどっち？」①は「こしあん」②は「粒あん」正解は、①のぼたもち(牡丹餅・牡丹の花の咲く季節)②のおはぎ(御萩)は、萩の花の咲く「秋の彼岸」のお供え物です。あんの材料となる小豆は収穫した秋にはそのまま粒あんに、春には殻が硬くなるのでこしあんに、という具合だそうです。甘いものに目がない私は、最近、休日になるとエプロンをはめて台所に立ち、「かぼちゃプリン」や「スイートポテト」などを作っています。自称「スイーツ男子」です。近年、子どもたちは親や祖父母から、菓子作りを学ぶ機会はあるのでしょうか。経験から学び、こ



養護教諭が復職します。

### ケセラセラ

新型コロナウイルス感染症に負けていけない!! 本当は直接会って交流したいが、できないなら、できる方法にチャレンジしよう!!

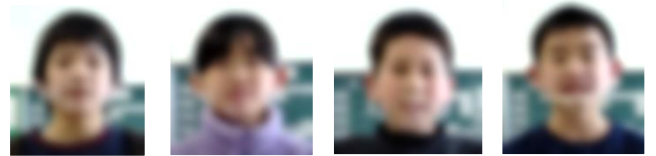
# 茂木小とオンライン発表会「力作プレゼン、大好評!!」

2月19日、ときどきの中、初めて迎えた、オンライン交流授業。教室には南小、茂木小それぞれ2台の大型モニターを設置し、それぞれに発表のようすや資料、教室のようすなどを映し出します。使用したのは、オンラインツール「Google・ミート」。四月から、長崎市内全ての学校で使用可能となるものです。本校が昨年の四月の一斉休校の時に使用した「Zoom」と違い、時間の制限はありません。個人を特定するアカウント（ID）とパスワード（パスワード）がないと、使用できないので、セキュリティも心配ありません。

南小児童が協働で作成したプレゼンテーション

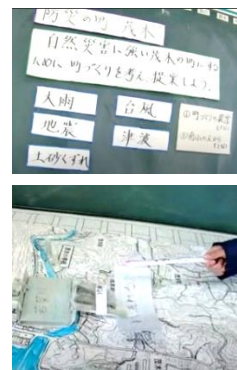


まずは、南小側の発表です。発表するのは昨年11月の佐世保への修学旅行の内容です。「Google・スライド」と呼ばれるオンラインツールを使い、四人で協力して作り上げたプレゼンテーション。こちゃこちゃと見にくくならないように、相手に分かりやすい画面構成に気を付けました。一台のモニターには、発表している児童の表情、もう一台のモニターには、プレゼンテーションを映し出しました。やはり、人の表情というものは、大切なコミュニケーションツールですので、「◎」が映るということは大切なポイントになります。（前号でも紹介しましたが、ここまでのリハーサルのようすをYouTubeが取材し、先日放映されました。）発表が終わると、茂木小児童から「一人一人が工夫していて、わかりやすい発表でした。」といった感想



南小児童の発表に拍手を送る茂木小6年生の児童

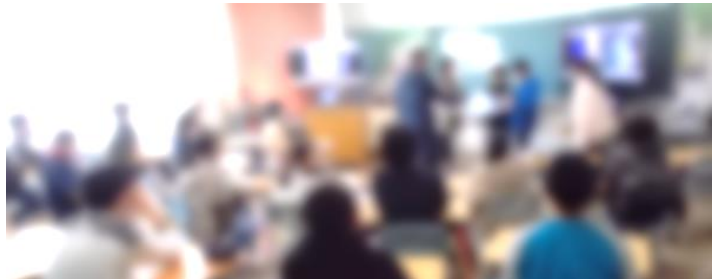
も聞かれ、大きな拍手が沸き起こりました。次に、茂木小学校の約20名の6年生が災害に強い茂木の町にするために考えたことを、グループに分かれて発表しました。茂木小学校の教室には、茂木港と茂木の町を示した地図が設置され、その上に手作りの模型（避難ビルなど）を置きながら説明するなど、工夫されていました。担任の先生も、ウェブカメラを手に持ち、地図や模型に接写するなど、カメラワークを工夫されました。臨場感のある映像と詳しい説明が南小学校の教室に届きました。人数が多い茂木小は、グループごとに実に様々なアイデアをまとめていました。各グループの発表の後には質問タイムが設けられています。南小の四名は、朝のスピーチの時間などに鍛えた「聴く力」を生かし、様々な質問や感想を堂々と発表することができました。「先のことまでしっかりと考えられていて、すごいなと思いました。」といった感想。「車いすなど体が不自由な人やお年寄りはどうのように避難するのですか?」「耳が不自由な人に、耳からの情報が届かないのでは?」「それを作る費用はどれくらいかかるか」と



茂木小の教室のようす

## 今後は、オンラインと対面の使い分けを検討!

考えますか?」といったするどい質問。茂木小の児童からは、「そんな視点で考えてもみなかった、すごい。」という感心の声が溢れました。お互いに、相手意識をもって発表できたこと、他校での学習のようすやその児童の考え方に触れることなど、よい体験ができたのではないかと考えています。また、移動時間や交通費がかからないなど、非常に効率的でした。ただ、オンラインでは、一緒に運動場を走り回って遊んだり、空間を自由に移動して交流したりなどできません。身体的な制限がかかるのです。今後はオンラインと対面のそれぞれの良いところをうまく組み合わせ、より効果的・効率的、そしてより感動的な取組を模索していきます。



グループごとに茂木の町の防災対策を発表する茂木小6年生の児童



茂木小児童の発表に拍手を送る南小5,6年生の4名の児童